

# 豊田民報

◆日本共産党豊田市委員会  
豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三三・四七・七二  
毎週一回発行

## 3月市議会 根本市議の 一般質問①

### 名鉄バス廃止は10月に延期！ おいでんバスで代替路線検討

3月1日、日本共産党の根本みはる市議は3月市議会の一般質問に立ちました。昨年の12月、名鉄バスの東山住宅線・九久平線が「今年4月で廃止を検討」との記事が新聞に載りました。東山住宅線では年間1



名鉄バス  
九久平線 路線図

### 上郷・高岡地域の病院・診療所・福祉施設にコミュニティバスを

公共交通の空白、バスが走っていない上郷・高岡地域に、4月の開院を待つ病院ができ、市の医療施設（1次救急診療所と、併設されるこどもの外来療育施設、障がい者就労施設）の設置が進んでいます。根本市議はこれまでも、市議会で公共交通の必要性を訴えてきました。この地域では公共交通の空白の問題は、放置できない課題となっています。全体に需要が見込めない、地域バスでは、ここにバスの延伸は、現在の路線に影響が出るなどの理由で、バスの考えはないとの答弁ですが、病院や福祉施設に、バスは必要ないと言うのでしょうか。

上郷・高岡地域は、旧市内で公共交通カバー率は、最も低い状況であり、公共交通基本計画で「検討が必要」とする地域です。根本市議は、公共交通の計画を進めていく主体は市であり、地域住民の意見を聞いて検討すべきだと強く意見を述べました。

2万2千人が利用し、九久平線では9万3千人が利用する路線です。

市の「事務・事業の見直し」方針として、地域バス・基幹バスの運行見直しが出されたことから、根本市議は、市がコミュニティバスを市域全体に展開してきた考え方を確認すると「生活交通は社会資本としての公益性の評価を重視する、採算性だけで判断しない」という従来の姿勢を示しました。

「バスを廃止はしないほしい」と、住民の方が署名に取り組みました。名鉄バスは住民の交通手段として利用されてきた路線であり、廃止の大きな影響が心配です。「通勤・通学に困る」「体が悪く、バスが通らなくなれば、病院へも出かけられなくなる」など切実です。

根本市議は、名古屋市の名鉄バス（株）に出向き、住民の皆さんの意見を届け、廃止の中止を要請してきたことを述べ、豊田市として名鉄バス（株）に対し、東山住宅線・九久平線の路線継続を求めべきと迫りました。今の状況として、名鉄バス



病院および1次救急診療所建設予定地の周辺（点線の中）にバス路線がありません。

# 大村よしのり市議の一般質問(その2) 真の「働き方改革」をめざして

日本共産党の大村よしのり市議は、3月議会の一般質問で、「真の働き方改革を求めて」質問しました。

## 第3セクターの非正規職員、5年で無期雇用転換はかる

労働契約法が改訂されて、今年4月から無期雇用転換ルールの適用が始まります。

例えば、期間従業員や契約社員、パートタイマーや派遣社員といった有期契約労働者、1年などの期限で雇用契約を結んで働いている非正規労働者が、通算5年以上同じ会社で働いた場合、本人が申し込めば無期雇用になる。つまり期限を切らないで働く事ができる雇用契約に転換できるというルールが4月から開始されるわけです。2008年のリーマン・ショック後、大量の雇い止めが社会問題化したことから改正されました。

大村市議は、市が出資する第三セクター、豊田市の協会・公社の非正規労働者について質問しました。

答弁では、有期雇用契約で5年を超えて働いている方が471人もいる事が明らかとなりました。

さらに、大村市議の指摘に対して、今年4月から、これらの方たちを無期雇用へ転換する事、それに合わせて昇給の仕組みの導入や、休日制度の拡充など、処遇の改善を図ると答弁し、一定の前進がはかられました。

## 教員の多忙化解消プラン策定して、改善はかる

大村市議は、2月9日付で、文科省が「働き方改革に対する緊急対策」を通知したとして、教員の働き方改革についても質問しました。

答弁では、「多忙化解消プラン」を策定して改善をはかるとなりました。

大村市議は、事務職員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員、常勤化が必要だと指摘併せて、いわゆる「朝練」の廃止についても提起しました。

# 核兵器のない世界へ ビキニデー集会に参加

核兵器のない世界を、と求める「3・1ビキニデー集会」に参加してきました。日本原水協(原水爆禁止日本協議会)などが主催。

今回は愛知県原水協のバスツアー2泊3日に参加。

初日の27日は東富士演習場に行き、自衛隊の演習を見ました(左写真)。戦車からの砲撃も見え、速くて赤い弾道と爆発音を視聴して、もし実戦で使われたら...と恐怖を感じました。

じました。

28日と1日は、主に集会や学習会。北朝鮮の核実験やミサイル発射を止めさせるためにも、日本政府は核兵器禁止条約に賛同して、自国も北朝鮮もアメリカも核抑止力への依存から抜け出していくべきだと思いました。

集会では、焼津市長が来賓あいさつ。自治体の首長が積極的に行動していることにも励まされました。

(本多のぶひろ)



# 後援会の企画で平湯温泉へ

日本共産党豊田市後援会が3日と4日、平湯温泉への1泊旅行を企画しました。

スキー・スノボは、ほうのき平スキー場で滑り、滑らない参加者はロープウェイに乗り新穂高からの景色を楽しみました。

「初めてスノボに挑戦」「高山観光が目当て」など、いろいろと楽しめる点があり、参加者には好評でした。

